



鹿工プライドを築こう

校長 野中 久光



入学式の式辞で、私は新入生に自覚して欲しいこととして三つのことを話しました。

第一は、「夢実現」という言葉です。努力もせずに願っているだけでは夢は叶いません。夢を諦めず挑戦した結果こそが、夢実現につながるのです。とにかく最善を尽くしてやってみよう。希望を失わず、全力を傾けよう。高校は将来自分が希望する職業に就くため、基礎的な技術や技能を習得したり、社会で遭遇する様々な苦難を乗り越えるため心身を鍛練する所です。これからは自分の人生を自分で切り拓いていく、そのような強い気概をもって、高校生活を送って欲しい。そして、世界に通用する二十一世紀のものづくりのスペシャリストを目指し、「新たな鹿工ブランド」を築いていくという気概と自覚を持って欲しい。

第二は、「初志貫徹」という言葉です。「初志」とは最初に決める志、「貫徹」とは同じ思いを最後まで貫き通すことです。そして、志を立てるなら、より高い志を立てて欲しい。今、ここで掲げた志を卒業まで持ち続け、諦めず努力して欲しい。

第三は、「社会人基礎力」という言葉です。本校生の約八割は、卒業後に社会に飛び立っていきます。そこで、本校では生徒が社会に出たときに困らないように、挨拶、服装容儀、礼儀などの社会人としてのマナーを日々徹底して学ばせています。社会人基礎力とは、「人間性や基本的な生活習慣を基礎に、基礎学力や専門知識に加え、それらを上手く活用し、多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」のことです。私は社会人基礎力を中心に、これまでの教育活動を継続しつつ、更に充実・発展させてまいります。

生徒・保護者・同窓会・教職員が一丸となって、鹿工をこよなく愛し誇りに思う「鹿工プライド」を一緒に築いて行きましょう。

入学式



学校長式辞



新入生代表宣誓



生徒有志によるエール



寮生による校歌紹介

平成28年度の入学式が4月7日(木)、本校体育館で行われました。新しい命が萌え、沸き立つような新緑の中、359名の生徒が入学を許可されました。

新入生を代表し、1年4組の西村篤志さんが、校訓を胸に歴史と伝統を継承し、鹿工の新たな歴史を創造していく決意を力強く宣誓しました。これからの3年間で多くの事にチャレンジし、実りある学校生活を送ってくれることを願っています。

式の最後には、生徒会有志によるエールと毎年恒例の寮生による校歌披露も行われ、新しい仲間を迎える素晴らしい日となりました。

歓迎の言葉



生徒会長 情報技術系3年 谷 山 和 弘(川内中央中)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。鹿児島工業高等学校の一員となられたことを大変嬉しく思っています。

皆さんが鹿工の一員となり早くも一か月が経ち、毎日新しいことを学んでおられると思います。そして、日々の生活の中で僅かながら鹿工に慣れつつあることでしょう。中学校とは違い、専門的な授業や部活動で戸惑うことや頭を悩ますこともあるでしょう。そんな時は是非、遠慮せずに我々2・3年生を頼ってください。

さて、これから勉強はもちろんのこと資格取得や学校行事が目白押しの3年間が始まります。大運動会や鹿工祭（文化祭）、クラスマッチは、クラスメイトや全校生徒が一丸となって取り組む行事です。一人一人が成功させるのだという強い気持ちを持って全力で取り組んで頂きたいです。

最後に、今この時も鹿工の新たな1ページが刻まれています。充実した3年間が過ごせるよう1日も早く鹿工に馴染み、共に励まし合いながら頑張しましょう。

鹿児島工業に入学して



1類 1年4組 西 村 篤 志(谷山中)

鹿児島工業に入学して、最初は不安ばかりでした。でも、クラスメイトと会話を重ねていくうちに不安はなくなっていきました。

また、勉強や部活動の文武両道を目標に資格取得にも励んでいきたいと思います。そして、毎日が充実した楽しい一日になるように日々頑張っていきたいと思います。

対面式

入学式翌日の4月8日(金)に、本校体育館にて対面式が行われました。

1年生は上級生との初めての顔合わせで、かなり緊張した様子での対面式となりました。学級ごとに起立し、学級担任とともに1、2年生は紹介され、3年生は自分たちで学級紹介を行いました。生徒会長の谷山和弘さんが1年生にむけ歓迎の言葉を述べ、それに対して新入生代表の森翔哉さん(1年7組)が鹿工生としての決意を堂々と語ってくれました。その後、3年生代表から1年生代表へ生徒手帳が贈呈されました。全校一丸となり、日本一の工業高校を目指して共に頑張っていきましょう。



部活動紹介

4月8日(金)の5・6校時に本校体育館で部活動紹介がありました。例年、各部の工夫を凝らした紹介は、新入生に鹿工生の仲間入りをしたという実感を強く印

象付けています。多くの新入生が部活動に入部して、学業以外の場でも多くのことを学んでくれることを期待しています。



ラグビー部



ハンドボール部



ボクシング部

生徒指導部

14年連続就職内定率100%を誇る本校の礎は、「いいかげんなことをしない生徒」が活躍していることだと思います。部活動・資格取得はもちろん、大運動会や鹿工祭に情熱を傾ける生徒の姿を見ると、心から応援したいという思いがこみ上げてきます。

夢や希望を持って活躍した鹿工生が将来、社会全体に貢献したり、人々に夢や感動を与え続ける本校でありたいものです。

鹿工生としてのプライドを持って、鹿工のブランドを継承し続けるために、次のことを心掛けましょう。

1 「5S」を心掛けよう

日常生活において、身につけて欲しい習慣です。社会生活の中でも大切なことですので、以下の5つの事を心掛けよう。

- **整理 (Seiri: せいり)**
必要なものと不必要のものを仕分ける。
- **整頓 (Seiton: せいとん)**
決まった物を決まった場所に置き、いつでも使える状態にする。
- **清掃 (Seisou: せいそう)**
常に掃除をして、活動の場を清潔に保つ。
- **清潔 (Seiketsu: せいけつ)**
常に端正な服装・頭髪で清々しい気持ちで過ごす。
- **躰 (Shitsuke: しつけ)**
門礼や始業・終業時のあいさつなどの礼法や正しい言葉遣いなどの習慣を身につける。

2 具体的な行動を心掛けよう

- ① **時間厳守**
〔登校・集合・移動など〕「5分前」には完了するように早めの行動を心掛ける。
- ② **丁寧なあいさつ**
「こんにちは」「お願いします」を丁寧に発声する。
始業・終業時は「語先後礼」で元気よくあいさつをする。
- ③ **教室の整理整頓**
カバンや補助バッグ類は棚にきれいに収納し、通路には置かない。
下校時の机の整理と窓やドアの戸締まりをする。
- ④ **公共物を汚さない・壊さない**
飲みかけのジュースを机の横や棚に放置しない。
校内でガムを噛まない。吐き捨てない。
壁やガラスを壊さない。もし、壊してしまった場合は、速やかに担任や近くの先生に報告する。
- ⑤ **一日一善**
ゴミがあつたら拾ってゴミ箱に捨てたり、老人や幼児にバスの座席を譲るなど良い行いを一日一回行う。

全国選抜大会に出場して (ソフトボール部)

主将 電気技術系3年1組 鵜狩 充希(紫原中)



私たちソフトボール部は3月静岡県富士宮市で開催された全国選抜大会に出場しました。対戦相手は昨年インターハイで負けた飛龍高校(静岡県)でした。1日雨天順延を経て結果0対2で内容的にも完敗でした。全国大会で勝つ難しさ、そしてまだ自分たちが全国レベルに到達してないことを痛感しました。ソフトボール専用球場で試合ができたこと、また雨の中、応援に来てくださったOBの皆様、鹿児島から応援してくださった方々に感謝し、次はインターハイで結果を残すために努力したいと思います。

県大会 **優勝** (軟式野球部)

主将 建設技術系3年 猪八重 巧(伊敷中)



私達軟式野球部は、3月始良球場で行われた九州地区高校軟式野球大会鹿児島県予選に出場しました。

秋の大会で逆転負けした鹿児島商業高校にリベンジを果たすため、この冬私達は挨拶や礼儀の徹底に取り組み、長い冬のきついトレーニングを乗り越え、この大会で勝ち進み、決勝戦で鹿児島商業高校に逆転勝ちをし、三年振りに優勝することができました。

私達は5月11日から長崎県佐世保市で開催される九州地区高校軟式野球大会に出場します。保護者や指導して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、優勝目指して頑張ります。